

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230014

事務事業名	産業振興コーディネート事業		
事業開始年度	2012(H24)年度～	担当部署	地域振興部 産業振興課

根拠法令	枚方市産業振興コーディネーター事業実施決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:株式会社 都市空間研究所) <input type="checkbox"/> その他()

目的 (何のために)	市内の商店街や企業団地等が主体となって取り組む地域活性化に向けた各種事業を支援し、商店街および企業団地の効果的・持続的な活性化・再生を促進させることなどにより、市内産業の振興に寄与するため。
---------------	---

対象 (誰・何を対象に)	枚方市内に所在する中小企業等協同組合法に定める事業協同組合及び事業協同小組合、商店街振興組合法に定める商店街振興組合及び商店街振興組合連合会又はこれらに準ずる商業団体(以下「商店街」という)並びに枚方市七企業団地連絡協議会を構成する各企業団地(以下「企業団地」という)。
-----------------	---

事業内容	(1)商店街の活性化モデルの創出:市が指定する商店街を対象として、専門的立場からコーディネート支援を行い、持続的かつ先進的な活性化モデルを創出する。①活性化プロジェクトの設立支援②活性化プランニングに向けたヒアリング・コンサルティング等③活性化プランの策定・施行④施行結果の評価・報告 (2)企業団地の再生・活性化に向けた支援:市内の七企業団地を対象として、専門的立場からの総合的コーディネートおよびコンサルティングを実施し、良好な操業環境の維持につなげるとともに、企業団地の再生・活性化に向けた支援を行う。①実態把握のヒアリング等の実施②再生・活性化に向けたコンサルティング等③施行結果の評価・報告
------	---

類似事業	
------	--

事業の必要性	市内の商店街や企業団地等が主体となって取り組む地域活性化を支援して市内産業の振興に寄与するという本事業の目的を達成するためには、具体性と実効性のある専門的かつ総合的な知識を持つ専門家によるコンサルティングおよびコーディネート業務が必要である。
--------	---

コ ス ト		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	- 人	- 千円	0.27 人	2,160 千円	0.27 人	2,135 千円	
再任用職員	- 人	- 千円	人	0 千円	人	0 千円	
非常勤職員等	- 人	- 千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)	- 千円			2,160 千円		2,135 千円	
直接経費(B)	- 千円			4,861 千円		6,500 千円	
総事業費(A+B)	- 千円			7,021 千円		8,635 千円	

財源内訳		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
国庫支出金	- 千円			千円		千円	
府支出金	- 千円			千円		千円	
受益者負担(使用料等)	- 千円			千円		千円	
その他	- 千円			千円		千円	
一般財源	- 千円			7,021 千円		8,635 千円	

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	産業振興コーディネート事業経費 委託料	4,861 千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230014

事務事業名	産業振興コーディネート事業		
事業開始年度	2012(H24)年度～	担当部署	地域振興部 産業振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 活性化支援件数(H24:御殿山渚商店会、樟葉宮表参道商店会、枚方家具団地協同組合/H25:H24の3件に加え、宮之阪中央商店街振興組合)	件		3	4
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/活性化支援件数	円		2,340,333	2,158,750
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	専門的かつ総合的な知識をもつコーディネーターの継続的な支援により、商店街・企業団地の集客力の向上を含む地域の活性化を実現する。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	大阪市や東大阪市などにおいて、同様にコーディネーターの派遣により商店街の活性化支援を実施している。また、民間においては、(株)全国商店街支援センターにおいて、回数を決めてコーディネーターを派遣し、「商店街活性化計画」の作成支援を実施している。				
特記事項	<p>○委託先の選定については、「商店街等を対象として、商業活性化の専門的視点から、地域資源等とのコーディネート、当該商店街の活性化に向けたプランニング、当該商店街の会員への研修及び各種事業の実施に関するコンサルティング等を通じて、持続的かつ先進的なモデルとなる商店街の創出を支援する」という業務内容を過去15年以内に経験した事業者であることなどを条件とし、一般競争入札により決定している。</p> <p>○市が指定する商店街の選定については、対象となる市内23箇所の商店街の中から、過去に「商店街等活性化促進事業補助金」の申請が多い商店街をピックアップし、コーディネーターの支援による専門的な支援を希望するかを当該商店街に打診して決定した。</p> <p>○御殿山渚商店会については、①100円招店街の定期開催②渚まつりの企画・運営③大売出しの開催とポイントカードの実施④街中アートの実施などを支援することで、①店主同士のつながりの強化②顧客の共通性の認識③販売しているものが高価な店ではヨーヨー釣りなどのミニ縁日を開くことで親子ずれの客が増え、顧客へとつながったなどの効果があった。</p> <p>○樟葉宮表参道商店会については、①「みつけ市」の定期開催②ご当地グルメの開発(塩こんぶ焼きそば)③商店会オリジナル商品の開発・販売④ゆるキャライベントへの参加⑤「みつけブログ」「Facebook」「Twitter」等の活用による広報活動⑥「ハロウィンウォーク」「手づくり市」など地域との連携などを支援することで、①キャラクター「みつけ」の知名度アップ②若い家族の来店者の増加や年配者の意識向上、参加者の交流活性化など③リピーターの増加などの効果があった。</p> <p>○枚方家具団地協同組合については、これまで自主的に活性化に向けた勉強会を開催してきたものの結果が出ていなかった。コーディネーター導入により、ヒアリングおよび現地調査(アンケート)等を通じた実態把握と課題整理を行ったことで、「前向きに実施できることを考えてやってみる」という意識改革につながった。</p> <p>○「問題点の整理をはじめ、来場者アンケートやワークショップの実施などを通して、自分たちではなかなか実施できないことをやってもらえて、客観的に商店街を見つめ直すことができた。新しい取り組みへの検討も行うことができた」等の意見が、対象商店街等から聞かれている。</p>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針(平成25年度)	現状のまま継続	市内産業の活性化に向けたより効果的な施策展開を図るとともに支援団体への継続したフォローアップを実施する。			
一次評価結果(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 対象が商店街・企業団地と広く、活動も絞りきれてないのでは 費用対効果の検証が必要では 本事業の有効性・効果性の検証を行うべきでは 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	これまでも意欲を持って積極的に活性化に取り組んでいる商店街等を選定してコーディネーターを派遣し、それぞれの実情に合わせた効果的な支援を実施してきたところである。引き続き市内産業の活性化に向けたより効果的な施策展開を図るとともに、支援団体への継続したフォローアップも実施する。費用対効果およびコーディネーターの有効性・効果性の検証方法の検討を行う。			